

令和3年度 鈴鹿市応急診療所運営委員会 議事概要

1. 日 時 令和3年3月15日(火) 19時30分～20時30分

2. 場 所 鈴鹿市保健センター すこやかホール

3. 出席者

応急診療所運営委員 8人

事務局 5人

4. 傍 聴 0名

5. 内 容 以下のとおり

(1) はじめに 挨拶

(2) 令和3年度利用状況について

【令和3年度(2月末まで)の利用状況について報告】

・昨年度と比較すると受診者はやや増加傾向。1月以降は第6波の影響で昨年同月と比較すると1月は1.7倍、2月は2.3倍に増加している。

・小児の占める割合の増加がみられる。

【年末年始の状況報告】

・インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行に備え、早くからのご協力により大きな混乱はなかった。

【抗原検査の実施状況】

・検査開始から令和4年2月末までの総件数はのべ1595件、陽性者数は300件となっており、1.2月の陽性率は35%前後と高くなっている。

(3) 薬剤等について

【採用薬剤について】

・ラキソベロンを採用

・アタラックスP注射液は中止しポララミン注射を採用

・ムコダイン錠、ムコダインドライシロップが出荷調整中で入荷困難。代用薬剤について薬剤師会と調整。

(4) 診療体制について

・昼間診療は3月27日から1診体制の予定。

・ヒヤリハット事例は特に報告なし。受診者、陽性者の増加に伴い、受付から検査、診察、会計や投薬までの過程が煩雑になっており、臨時的にスタッフを増員して対応している。引き続きダブルチェックや声掛け等を継続し事故等の無いような体制を整えていきたい。